

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	移住・交流推進事業費			部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課
				実施期間	H15～	E-mail	iju @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、暮らし方や働き方の意識に変化が生じ、地方回帰の機運が高まっていることから、長野県への移住者数も7年間で約1.9倍（H27年度:1,758人⇒R4年度:3,334人）と増加傾向にある。これを一過性のものとしないうちに、引き続き市町村や関係部局と連携し、ターゲットとしている「若者・子育て世代」に訴求する取組を実施していく必要がある。

2 事業目的

「若者・子育て世代」にターゲットをおき、移住に加え、移住に限らない多様な関わり方で長野県とつながる人を増やし、更なる移住・二地域居住や関係人口の拡大を推進することで、地域の活性化や活力創出を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①移住相談窓口の運営
- 地方移住検討者を長野県に引き寄せるため、地方移住の相談拠点として機能するNPO法人ふるさと回帰支援センターと連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進
 - 三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置
- ②信州で暮らす魅力の情報発信
- 移住に関する包括サイトを運営し、長野県の仕事と暮らしを総合発信
- ③信州で「暮らす」「働く」「つながる」イベントの開催
- 市町村や民間企業と連携し、長野県の仕事と暮らしをセットで相談できる移住相談会・セミナーを開催
 - 【新】地域で空き家利活用に取り組む専門人材を育成するための研修を実施
 - 空き家DIY等のイベントを通じ、都市圏住民等と県内地域をつなぐプログラムを実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	移住相談件数	件	2,980	4,593	↑	3,747	↓	3,800		三大都市圏及び県庁で対応した相談件数（相談会・フェアの参加者数を除く）を設定。コロナ禍による地方回帰の機運の高まりが落ち着きを見せ、コロナ以前の相談件数に戻つつある中、R5の水準を維持するため、R5と同程度の相談件数を目標値とする。	
②	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」のアクセス件数	件	159,963	193,537	↑	164,484	↓	165,000		コロナ禍による地方回帰の機運の高まりが落ち着きを見せる中、引き続き移住検討者に向けた記事コンテンツを掲載し、R5と同程度のアクセス件数を維持する	
③	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	人	772	752	↓	845	↑	850		魅力的なテーマの設定や、県内企業への就職相談ができる移住フェア等を開催することで、R5と同程度の参加者数を目指す	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	★移住者数	人	2020 (R2)	2,426	2021 (R3)	2,960	2022 (R4)	3,334	2027 (R9)	4,500
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	★社会増減(2023～2027年度の累計)	人	2020 (R2)	△ 5,484	2021 (R3)	△ 7,244	2022 (R4)	△ 4,132	2027 (R9)	2,700

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案	2月上旬公表予定		0			7.0
	要求	62,435		62,435		53,438	
R5年度	0	53,105	0	53,105	41,896	6.4	
R4年度	0	61,428	0	61,428	50,844	59,454	7.0

事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課
-----	-------------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	信州暮らし案内人の配置	20,531 千円	19,317 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 21,952 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・名古屋・大阪）及び県庁に、総合的な移住相談窓口を設置し、それぞれに相談員（信州暮らし案内人）を配置 相談員の配置4名（東京・名古屋・大阪・県庁）	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	ふるさと回帰支援センター連携事業	20,066 千円	20,170 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 22,045 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京・大阪）との連携	委託	地方移住の相談拠点として機能するNPO法人と連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進 ・東京：相談員2名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 ・大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施 相談員の配置2名（東京）	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	1,993 千円	1,993 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,993 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」を中心に、長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関する記事コンテンツを制作するとともに、SNSを活用した情報発信を実施 記事コンテンツ制作数15件予定	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	共創人口構築事業	4,285 千円	4,285 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,606 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	共創人口構築事業	委託	県内自治体で、空き家DIYイベント等を通じて、都市部住民等と地域とが交流し、共に創る（共創）プロセスの中で生まれる強い地域とのつながりを持つ関係人口の創出・拡大を推進 プログラム実施地域2箇所、シンポジウム1回開催予定	

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
5	信州型空き家留学支援事業		- 千円	- 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,456 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	信州型空き家留学支援事業	委託	移住者の住まい確保策の一環として、地域で空き家利活用に取り組む専門人材を育成するための実践的な滞在型長期研修を実施 2泊3日の短期研修、3か月間の長期研修をそれぞれ1回開催予定		

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
6	第2のふるさとづくり検討事業		- 千円	- 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 2,086 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	第2のふるさとづくり検討事業	委託	首都圏と県内の若者による、県内地域との関わり創出や首都圏における拠点の有効活用について議論する場を設ける 検討会議を5回開催予定		

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
7	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業		3,551 千円	3,551 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 3,551 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	県、市町村、民間事業者が参画する協議会において、オール信州による移住等の取組を展開(移住セミナー・相談会の開催、各種フェアへの参加、移住者交流会の開催、移住者捕捉のための取組など、移住関連の事業を総合的に実施) 移住セミナー開催回数16回、移住者交流会開催4回予定		